

加古川を走った 鉄道風景写真展

主催	加古川市立松風ギャラリー指定管理者 加古川市美術協会
日時	令和8年6月16日(火)～6月24日(水) 午前9時～午後5時 会期中休館なし
場所	加古川市立松風ギャラリー 展示室 I
内容	<p>加古川を走った鉄道の風景をとらえた写真展を開催します。</p> <p>松風ギャラリーは廃線となった国鉄高砂線と別府鉄道の野口駅のそばに位置していることから、毎年鉄道の写真展を開催しています。今回は平成26年に開催した「竹中計夫写真展なつかしの鉄道風景～加古川の昭和時代～」から作品を選定して公開します。機関区や蒸気機関車、国鉄高砂線と別府鉄道(いずれも1984年廃線)が走っている風景、駅の周辺などをとらえた約25点を展示予定です。</p> <p>撮影者の^{たけなかがずお}竹中計夫氏(1933年～2025年)は地元の風景を撮影し後世に残す活動に尽力され、その写真は昭和時代の加古川の風景を今に伝える貴重な資料となっています。別府鉄道と国鉄高砂線の廃線から40年以上が経過した現在では市内にこれらの鉄道が走っていた時代を知らない市民も多くいます。今展を通し、地元の歴史を知る機会となると幸いです。</p>
対象(参加者)	どなたでもご覧いただけます。
参加費	無料
目的・背景 その他	かつて市内を走った鉄道風景に思いを馳せていただくと同時に地元の作家を紹介することを目的に開催します。
市ホームページ	・ <input type="checkbox"/> 掲載しない
広報かこがわ	・ 6月号に掲載

加古川を走った 鉄道風景写真展

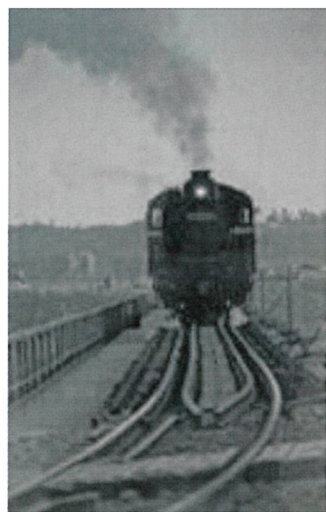


野口駅に停車中のキハ2

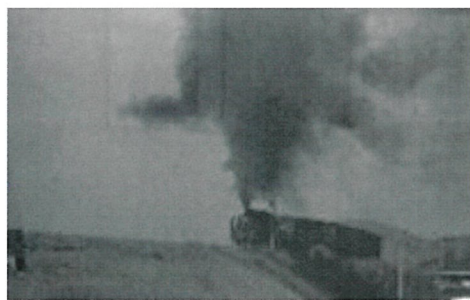
2026年

6月16日(火)～6月24日(水)

公開時間:午前9時～午後5時
会期中休館なし 入場無料



国包鉄橋を渡るC12230



高砂線を走るC11

地元の風景を撮り続け
加古川市の文化振興に貢献された
竹中計夫氏を偲び
平成26年に当館で開催した
「竹中計夫写真展 なつかしの
鉄道風景写真展～加古川の昭和
時代～」から作品を抜粋して
公開します。

- 【交通アクセス】 JR加古川駅から徒歩15分
・かこバス 別府ルート「松風ギャラリー前」
鳩里・尾上ルート「市役所前」下車徒歩約3分
東加古川ルート「市役所前」または「北在家東口」下車徒歩約3分
・神姫バス(安田東行き)「市役所前」または「北在家東口」下車徒歩約3分

加古川市立 松風ギャラリー
〒675-0017兵庫県加古川市野口町良野1736
TEL 079-420-2050 FAX 079-420-2051
<https://matsukaze.info/>

主催 加古川市立松風ギャラリー指定管理者 加古川市美術協会



【加古川市役所から南へ200m】当館に専用駐車場はございません。駐車場は「たんようカーパークつつじ」をご利用ください。(最初の30分無料、上限600円)